

# 22年度5月 支部執行委員会 本部情勢報告ポイント

(分会員配布用)

- 組織拡大・強化** 分会1人の加入を！
  - 分会マニュアル配付 声かけのきっかけに
  - 新採用者対応 加入グッズの配付をお願いいたします。  
(若年層、臨時・非常勤についても本部までお問い合わせください)  
5月・6月・7月に青年部昼食交流会を企画
- 退職手当の見直しに関わって** 官民は概ね均衡 水準改定を行わない(国)  
国家公務員の総人件費に関する基本方針(14年7月25日閣議決定)
  - ・官民比較に基づき、概ね5年ごとに退職手当支給水準の見直しを行うことで官民均衡を確保する  
22年4月21日 人事院見解概要  
民間 24,055千円 公務 24,070千円 (15千円(0.06%)) 公務が上回る  
22年4月22日 国家公務員制度担当大臣発言  
「官民でおおむね均衡しており、国家公務員の退職手当の水準改定は今回は必要ない」  
22年4月25日 公務労協内閣人事局交渉  
「退職手当の水準改定は、今回は必要ない」→国においては退職手当の水準改定を行わない
- 民間給与実態調査** 例年並みのスケジュール・内容で実施  
期間：4月25日～6月17日  
対象：企業規模50人以上で、無作為抽出された250事業所(1,119事業所中)  
内容：①給与月額(22年4月分) ②賞与(21年8月～22年7月)  
③諸手当支給状況 ④給与改定等状況 ⑤初任給月額 ⑥高齢者雇用施策状況  
指示第8号 人事委員会勧告に向けた「青年部独自要請署名」のとりくみをお願いいたします  
(7月予定人事委員会交渉で提出 6月18日(土) 支分代でご提出ください)
- ホームページの利用** ユーザー名、パスワードは(shinkoukyou14)
  - 新高教ホームページ (<http://www.shinkoukyou.net/>) **新潟高教組で検索**
  - 本部情勢報告のポイント(別紙)の活用をお願いします
  - 各種指示文書ダウンロード可
- 教科別ICT研修について** 支部執等時の配付資料には記載なし(印刷準備の関係から)  
教科担当が1人しかいない小規模校ですすでに昨年度その方が研修受講済みである場合  
今年度の研修受講は免除している(総務課企画係・高校課担当)  
※管理職等に周知しているわけではない  
上記対応は問い合わせがあればそのように対応しているとのこと  
※昨年度は「電子黒板」今年度は「端末の扱い」と内容は異なる

□新潟県知事選新高教本部支援会□ 5月12日(木)告示 5月29日(日)投開票

「片桐なおみ」さん (新潟の新しい未来を考える会会長)

○新高教第150回臨時県委員会(4月29日(金)) 推薦決定

- ・プロフィールなどはHP (<https://katagirinaomi.com/>) 等参照
- ・支援の輪を広げよう！
- ・投票に行こう！

5月8日(日)「片桐なおみと新しい新潟県政を創るつどい」の紹介(週報5月10日号に掲載)

5月8日に西区で行われた支援者集会で、森ゆうこ参議院議員から「片桐さんは強情っ張り、わきまえない女の代表。国の『言いなりさん』とは違う」と持ち上げると、選对本部長の近藤正道弁護士からは、「実兄と二人三脚で日本有数の企業に育て上げ男性社会の経済同友会で副代表だ。38歳で2級建築士、その後5回も試験に落ちながら1級建築士を取得。さらに50歳過ぎて新潟大学法学部で学ぶ勉強熱心な方。きっと、県民や子どもたちの将来を明るくしてくれる。彼女の生き様、人柄を大発信しよう」と。そして最後に登壇したご本人から「柏崎刈羽原発建設反対闘争では、団結小屋で座り込み最後の10人まで残った。機動隊に引き抜かれた。その際隊員がぎょっとして『女だ』と。私はすぐさま『女で悪いか!』と返した」と。県民の負託にこれ以上かなう方はいないと確信した。